

本学の第3期中期計画が4月から始まり、6年ごとに策定しており、今回は英語教育を拡充したグローバル人材の育成、社会構造の劇的な変化に対応する数理・データサイエンスの教育に取り組むことを大きな2本柱に掲げています。さらに、大学院改革として、地域の企業や自治体との連携を深め、あらゆる人たちが学べる場となるよう、今年は新たなスタートを切る年に位置付けています。

みずぐち 水口 剛氏

高崎経済大学長



準の300人以上が留学できるよう準備しています。

数理・データサイエンスでは、ビッグデータを活用した経営戦略を立てら

学びを広げ変化に対応

れる人材を育てます。統計処理を学ぶカリキュラムを組み入れ、2023年度から試験的に導入を進めます。

昨年は大学院で「脱炭素時代の地域

産業を考える」と題し、全4回の特別

講義を開催。県内企業が参加し、グループ討論など行いました。今後も大学院では、地域の企業や自治体で働く人

始めました。10月の大学祭「三扇祭」は、

対面開催ができ、11月の高崎えびす講市では、本学の学生が運営する「販売甲子園」の開催も実現しました。県外

たちを積極的に受け入れる方針です。

学び直したい社会人に対し、門戸を広げていきたいと考えています。

学生生活がコロナ以前の状態に戻り

の学生は約7割。全国にネットワーク

が広がっています。目まぐるしく変わる社会に対し、柔軟に対応できる人材を本学から生み出したいと思っています。



— 地域に根を張り、世界と交流する知の拠点 —

公立大学法人 Takasaki City University of Economics

 高崎経済大学

〒370-0801 高崎市上並榎町1300番地

TEL.027-343-5417

<https://www.tcue.ac.jp/>

